


**警告**


安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。


**警告**


この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**


この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。


注意を促す記号

**火災**

**感電**

行為を禁止する記号

**禁止**

**分解禁止**

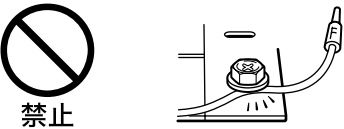
**警告**

**火災**

**感電**

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

- 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け
- 運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
 - コード類はまとめる。
 - ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。


雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



**注意**

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、不安定な場所などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

本体に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
● Fax……………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00


Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

スピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取扱説明書」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XS-771X

取り付け

取り付け部品の確認(付属)

① 止めネジ
M6 × 50 mm

② 取り付け金具

③ ワッシャー
ø6 mm

④ スプリングワッシャー
ø6 mm

⑤ ウィングナット
M6 mm

⑥ 型紙

× 2

× 2

× 2

× 2

× 2

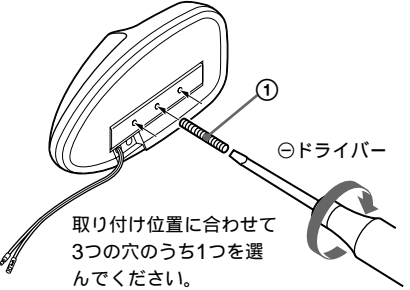
この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器はすべて別売品です。ただし、付属品は除きます。

取り付けかた

トランクリッドの開閉時に、取り付け部品とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。

リアトレイに穴があるときは

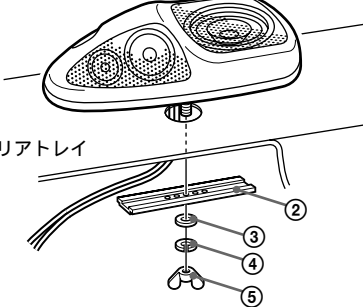
1



① ⊖ドライバー

取り付け位置に合わせて
3つの穴のうち1つを選んでください。

2



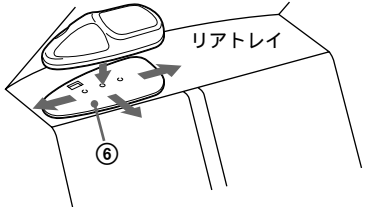
リアトレイ

取り付け後走行時に、⑤ウィングナットがゆるむ場合がありますので、確認してください。

リアトレイに穴がないときは

1

型紙と本機を重ねてのせ、取り付け位置を決めます。

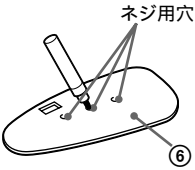


リアトレイ

⑥

2

ネジ用とスピーカー配線コード用の穴位置に印をつけて、穴を開けます。この穴の下に鉄板部がくる場合は鉄板にも穴を開けるか、本機の位置をずらしてください。穴を開けたら、「リアトレイに穴があるときは」の作業へうつります。

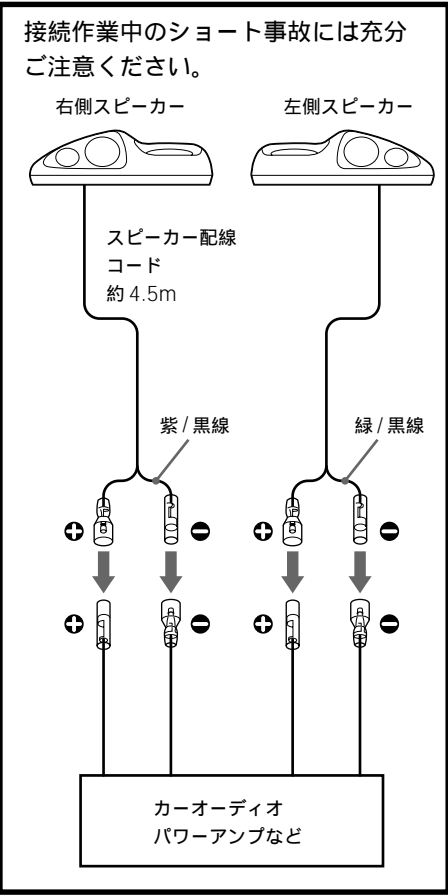


ネジ用穴
(取り付け位置に合わせて、3か所のうち1か所に穴を開けてください。)

⑥

ご注意
リアトレイに取り付け穴をあけるとは、トレイの裏側に何も無いことを確認してから、作業を行ってください。

接続



ご注意

- 必ず本機のスピーカー配線コードとアンプのスピーカー配線コードを直接、接続してください。
- 概設の純正スピーカー配線コードを使う場合、左右のスピーカー配線コードの側面が共通になっているものは使わないでください。スピーカーの⊕、⊖端子を車のシャーシなどに接続しないでください。
- スピーカーを接続する前に、必ずカーオーディオなどの電源をOFFにしてください。

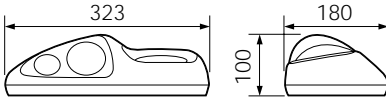
取り付けと接続が終わったら

ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くかお確かめください。

ご注意

- 音がひずむほどの大音量で鳴らさないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがあります。
- トランクルームの中のものや、窓ガラス、シートなどがスピーカーユニットに触れないようにしてください。

主な仕様

| | | | |
|---------|--------------------|---|---|
| スピーカー | バスレフ型3ウェイ スピーカー | 付属品 | 取り付け部品(一式) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) |
| ウーファー | 10cm コーン型 | 寸法 | 単位 : mm |
| ミッドレンジ | 5cm コーン型 |  | |
| トゥイーター | 3.2cm コーン型 | | |
| 定格入力 | 25W | | |
| 最大入力 | 100W | | |
| インピーダンス | 4Ω | | |
| 出力音圧レベル | 88dB | | |
| 再生周波数帯域 | 60~20,000Hz | | |
| 質量 | 約1.1kg(1個) | | |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときにはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。